

あいである REPORT

NUMBER
14

令和5年6月
**731名に実家便を
発送いたしました!**

新規:222名 継続:509名



まだまだ収まらないコロナ禍の中、施設を退所し、自活をスタートする子どもたち。
「皆さんを見守っています。」という気持ちを込めて、
初めての实家便を子どもたちに発送しました。

新規支援者へ発送した実家便

新規支援者への初回実家便は
災害時に役立つ防災用品、
長期保存可能な食品が中心です!

食品

- ・レトルト親子丼
- ・レトルトカレー
- ・パイナップルの缶詰
- ・海苔かつおのふりかけ
- ・甘酒
- ・みそクリームスープ
- ・ツナ缶
- ・バックごはん
- ・アルファ米
- ・クッキー
- ・ミルクキャンディ
- など

生活用品

- ・ミニタオル
- ・不織布マスク

防災用

- ・携帯用トイレ
- ・イベントリュック
- ・緊急用呼び笛
- ・防寒シート
- ・非常用食器折り紙
- ・コンパクトLEDランタン
- ・単3アルカリ 乾電池 4本パック
- ・軍手
- ・使い捨てカイロ
- ・絆創膏
- ・アルコール除菌ウェットティッシュ
- ・カードケース
- ・緊急連絡カード
- ・ひえぶるやわらかまくら

同封 メッセージ

- ・施設職員からの手紙
- ・ボランティアメッセージカード
- ・財団メッセージ
- ・地震発生時に気を付けること

PICK UP!



「ひえぶるやわらか
まくら(アイスまくら)」

発熱時はもちろん、暑さで寝苦しい夜に!
エアコン代の節約にもなります。

継続支援者へ発送した実家便はこちら



実家便を利用されている施設の先生へインタビュー!



美谷学園
伊藤 先生

当園では、2015年から継続して実家便を利用し、今期は7名の退所者に実家便を届けました。たくさんの支援を心から感謝しています。ここ数年で退園児童を取り巻く状況が児童福祉法改正から見ても大きく注目され、大きく変わってきています。当園も昨年より自立支援担当職員が配置され、退園児童への支援も以前に比べるとやりやすくなりました。

そのツールの1つとして『実家便』を利用しています。連絡を取り合い、渡しに行き、食事をしながらたくさんのお話をします。そういった流れが出来つつあります。「学園での生活は楽しかったなあ」「何より山の中より、街は便利でいいよ」「あの上司が苦手…」「彼女がどうの、この…」など思いつく話や職場の愚痴、近況報告、将来の話など時間の許す限り話をします。最後には「また『実家便』持ってくるね。」と言って別れます。心配する気持ちと、応援する気持ちを持ち

ながら帰園していると、スマホの着信音が鳴り、「今日はありがとう。」等の短いLINEが…。そういうこともできるようになったんやと感情に浸りながら学園に帰ります。退園児童との距離感はいよいよ近くに感じる事が出来つつあります。

しかし、学園からの支援にも限界があり、やはり子ども自身の生きる力が必要です。インケア、リービングケア、アフターケアと切れ目のない支援をし、子ども達が力をつけ社会に出ていけるようにと思っています。

退園児童の一人と学園に向かっていく途中で「実家に帰る感じが。見慣れた景色、落ち着くわ。」と呟きました。施設を「実家」のように感じてくれている事をとてもうれしく思いました。今後も、あいである様をはじめ支援していただける方々と協力して退園児童とつながり合い、アフターケアに努めていけたらと思っています。これからも『実家便』を是非、利用させて頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

実家便を受け取った子どもからの声

この度は実家便を送っていただき、ありがとうございました。一人暮らしで大変な時期ですが、このように支援をしてくださる方々がいることは有り難く、恵まれたことだと思います。沢山の方々のご支援や見守りによって、「生かされている」ことを忘れずに、これから社会人として生きていこうと思います。ありがとうございました。



非常持出袋などは自分で用意する機会があまりなく、お手紙にも書いてあるようにこの実家便で災害について再確認することが出来ました。また、食品等も様々な種類がありとても有難いです。ありがとうございました。



実家便を利用された先生の声

手紙を書いた職員から退所者に連絡を入れてもらい、実家便を送る日程調整、近況の確認をしてもらっている。継続して支援いただいているため、退所者にとっても根付いてきており、次回を楽しみにしている様子うかがえるようになってきた。実家便について職員と退所者とやりとりをする中で、多くの職員が多くの退所者に意識を持ってもらうようにしている。そのため職員個人でのアフターケアではなく、組織として取り組んでいる体制ができつつある。



不要になった物品で寄付が出来ます！



大切にされてきた
まだ使える物品で
募金ができます！

申込受付から査定・報告、および送金は「リサイクル募金きしゃぼん」(運営：嵯峨野株式会社)が担当します。リサイクル募金1回のご参加につき、きしゃぼんからも100円が寄付されます。

リサイクル募金

皆様から読み終えた本・DVD・ブランド品等をご提供いただき、その査定換金額を、あいであるに寄付していただく取組みです。寄付金は児童養護施設など社会的養護のもとで暮らす子ども、そこから自立を始めた子どもを支援するために役立てられます。

— 皆様のご参加をお待ちしております。

あいである リサイクル募金

0120-29-7000 (9時～18時)

詳細につきましては、
こちらのQRコード
よりご確認ください。



新たなレクチャーカードを制作しました！

成人年齢の引き下げにより懸念されている金銭や契約に伴うトラブルに関するカードや、キャッシュレス決済、スマホアプリの課金など、社会環境の変化への注意喚起となるカードを新たに制作しました！

カード制作費を助成いただきました！



公益財団法人

お金をまわそう基金

令和5年度は、実家便に同梱する「お米」の購入費用を「お金をまわそう基金」の寄付サイトで集めています！ 右のQRコードからご寄付いただけます♪
ご支援をお待ちしています。



マネークリップレクチャーの受講施設募集中！

募集要項を当財団HPにてご確認ください。



公益財団法人

あいである

〒105-0004

東京都港区新橋1丁目18-16 日本生命新橋ビル3F